

22 福祉避難所の防災訓練【新規】

ちよだみらいプロジェクトの 施策の目標		みんなで助けあう減災のまちづくりを進めます		
事業概要	内容	<p>心身の状況から、避難所での生活が難しい方を受け入れる福祉避難所の防災訓練を実施し、災害への対応力を強化します。</p> <p>内閣府は、平成28年4月に「福祉避難所の確保・運営ガイドライン」を策定し、区市町村を中心に平常時から福祉避難所の確保・運営に必要となる対策や取り組みを進めることを強く求めています。</p> <p>区では、平成26年度以降、7つの社会福祉施設と福祉避難所の開設等に関する協定を結んだほか、令和2年度には福祉避難所運営ガイドライン及びマニュアルを策定しました。令和3年度は福祉避難所のうち1施設で実践的な防災訓練を行います。</p>		
	事業開始年度	令和3年度		
事業費	予算現額	2,310,000円	決算額	2,200,000円
			執行率	95.2%
事業実績	<p>○令和3年度実績</p> <p>福祉避難所の開設等に関する協定を締結している2施設を対象として、災害発生時における福祉避難所開設の場面までを想定した図上訓練を実施しました。</p> <p>【訓練概要】</p> <p>(1) 訓練対象施設</p> <p>①高齢者総合サポートセンターかがやきプラザ</p> <p>②岩本町ほほえみプラザ</p> <p>(2) 訓練参加者数</p> <p>22名（区職員、福祉施設職員）</p> <p>(3) 主要訓練項目</p> <p>①福祉避難所開設等のための業務手順、各種調整要領等の確認</p> <p>②区が指定する福祉施設内における細部配置要領・動線等の設定及び確認</p> <p>③区と福祉施設の役割の整理及び問題点の認識</p>			
	<p>訓練終了後にアンケート調査を実施し、参加者の95%が「大変役に立つ」又は「役に立つ」と回答しており、自由意見においても「訓練に参加してよかった」「福祉避難所についてイメージが持てた」等の意見が多く、区職員や福祉施設職員の対応力の向上につながりました。</p> <p>※福祉避難所のうち1施設を対象に、現地での訓練実施を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により訓練方法等を変更しました。</p>			
実績を踏まえた評価・課題 令和5年度予算への対応	<p>今後も、福祉避難所の開設等に関する協定を締結している各施設で防災訓練を実施し、現状の課題や問題点を確認、改善していく必要があります。また、各施設の福祉避難所運営マニュアルを作成していく必要があります。</p> <p>令和4年度は1施設を対象に、施設個別の福祉避難所運営マニュアルの作成支援を行います。さらに、作成したマニュアルに沿って、実際の施設を会場とした実動訓練を実施します。また、上記と別の1施設を対象に、令和3年度同様の図上訓練を実施します。</p> <p>令和5年度も引き続き、施設個別のマニュアル作成支援及び防災訓練を行い、迅速かつ円滑な福祉避難所の開設・運営体制の構築をめざします。</p>			
所管課	保健福祉部 福祉総務課 (福祉政策担当課長)	決算参考書	172頁	R3予算の概要 74頁

23 8050対策【新規】

ちよだみらいプロジェクトの 施策の目標		高齢者が安心して暮らせる地域づくりに向け、地域包括 ケアシステムを構築・推進します						
事業概要	内容	<p>8050問題は、ひきこもりの長期化・高齢化を起因とする問題です。高齢の親が中高年のひきこもり状態にある子の生活を支えているものの、親が病気や要介護状態になった途端に生活が破綻する事例も報道され、その社会的孤立や窮状に目が向けられるようになりました。</p> <p>令和3年度は、多くの人に「8050問題」を理解してもらえるよう広報等を通して普及啓発します。</p> <p>また、ひきこもり当事者は、外出や電話・対面での相談に抵抗がある人も多いことから、SNSを活用して相談しやすい環境を用意し、支援を必要とする方を把握するとともに、区とのつながりを作り、必要な支援を行います。</p>						
	事業開始年度	令和3年度						
事業費	予算現額	決算額	執行率					
	4,665,000円	1,637,058円	35.1%					
事業実績	<p>○令和3年度実績</p> <p>(1) 相談受付窓口の開設 令和4年3月から、ひきこもりに関する相談を総合的に受け付ける窓口を設置しました。電話による受付のほか、区公式LINEアカウントを入口とした、テキストチャットによる相談受付窓口を試行的に設置しました（令和4年3月1日から3月31日までの期間限定）。また、窓口開設にあわせ、広報千代田や広報掲示板、SNSを活用し、積極的に周知しました。</p> <p>(2) ひきこもり支援体制の整備 ひきこもり支援のあり方についての検討及び情報共有等を行い、ひきこもり問題に対する切れ目のない多様な支援を実施することを目的として、「千代田区ひきこもりに係る支援協議会」を設置しました。 また、具体的な支援業務を専門の事業者に委託することで、ひきこもり当事者やその家族が専門的かつ具体的な支援を少ない負担で受けられる環境を整備しました。</p> <p>■令和3年度事業実績</p> <table border="1" data-bbox="264 1402 1019 1482"> <tr> <td>相談</td> <td>4件</td> </tr> <tr> <td>当事者・家族向け講座</td> <td>1回実施 1名参加</td> </tr> </table> <p>※テキストチャットによる相談受付システム構築業務の契約差金及び新型コロナウイルス感染拡大防止のため講演会等イベントの実施を見送ったことにより、執行率が低くなりました。</p>				相談	4件	当事者・家族向け講座	1回実施 1名参加
	相談	4件						
当事者・家族向け講座	1回実施 1名参加							
実績を踏まえた評価・課題 令和5年度予算への対応	<p>令和4年3月から開設したひきこもり相談窓口は、事業開始から間もないこともあり、認知度不足による相談件数の少なさが課題となっているため、今後も多様な広報媒体を活用しながら広報・周知を行っていく必要があります。</p> <p>令和4年度は、令和3年度に取り組んだ「8050対策」を発展させ、支援対象者の年齢制限を設けない「ひきこもり対策」として、相談受付窓口での受付業務及び専門事業者への委託による支援業務を引き続き実施していきます。窓口で具体的な相談を受け付けたときは、関係機関等による対応方針協議を行い、最適な支援内容の検討や進捗管理を行います。また、専門家による講演会・個別相談会を開催し、区民のひきこもりに対する理解を促進します。</p> <p>令和5年度は、令和4年度に引き続き、相談受付業務及び支援業務委託を継続するとともに、ひきこもり当事者の居場所づくり等、支援内容の拡充についても検討を進めていきます。</p>							
所管課	保健福祉部 福祉総務課 (福祉政策担当課長)	決算参考書	172頁	R3予算の概要 92頁				

24 地域福祉計画の改定【新規】

ちよだみらいプロジェクトの 施策の目標		福祉サービスの質の維持・向上に努めるとともに、生活 困窮者に対する生活支援を強化します	
事業概要	内容	<p>地域福祉計画は、地域生活課題の解決に向けた施策・体制等について、住民、関係機関、専門職等が協議のうえ、整備するもので、高齢者、障害者、児童、その他福祉の各分野における共通的事項を記載する「上位計画」です。</p> <p>近年、社会情勢や家族のあり方の変化等により、8050問題や孤立死、災害時要配慮者支援等、分野横断的に対応すべき課題が顕在化しています。</p> <p>平成30年4月以降に行われた社会福祉法の一部改正により、地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズに対応する包括的な支援体制の整備に関する事項が、地域福祉計画に盛り込むべき事項として新たに追加されました。</p> <p>令和3年度は、包括的な支援体制の整備や、それに伴う重層的支援体制整備事業の検討に向けた取組方針を明確にするため、平成29年3月に策定した地域福祉計画を改定します。</p>	
	事業開始 年度	令和3年度	
事業費	予算現額	決算額	執行率
	4,612,000円	4,612,000円	100.0%
事業実績	<p>○令和3年度実績</p> <p>千代田区地域福祉計画策定委員会及び庁内検討会・作業部会を設置し、現状把握・課題整理を行うとともに、包括的な支援体制の整備について検討し、その方向性をまとめた改定案を作成しました。</p> <p>(1) 策定委員会の開催 令和3年7月から令和4年3月までの期間で開催 4回開催</p> <p>(2) 庁内検討会の開催 重層的支援体制整備事業に関する庁内検討会 2回開催</p> <p>(3) 作業部会の開催</p> <p>①相談支援の連携部会 3回開催</p> <p>②地域づくりに向けた支援部会 3回開催</p> <p>③権利擁護部会 1回開催</p> <p>(4) アンケート調査の実施</p> <p>①保健福祉関係団体・事業所調査 配付：204件 回答：109件</p> <p>②マンションコミュニティに関する調査 配付：224件 回答：30件</p> <p>(5) パブリックコメントの実施 令和4年2月20日～3月7日の期間で実施（意見者数：20名 意見：45件）</p>		
	実績を踏まえた評価・課題 令和5年度予算への対応	<p>本計画の見直しにあたっては、地域の複雑・複合化した生活課題に対し、地域一体での支援体制を構築する観点から、庁内検討会・作業部会及び策定委員会で検討を行い、改定案の取りまとめを行いました。</p> <p>本事業は、計画改定に伴い令和4年度で事業完了を予定していますが、今後は分野別に配置されているコーディネーターの連携体制づくりや、まとめ役となる人材の養成に向けて関係各課・機関による検討会を実施するなど、包括的な相談支援体制の構築をめざします。</p>	
所管課 保健福祉部 福祉総務課	決算参考書	172頁	R3予算の概要 114頁

25 PCR検査助成【補正予算】

ちよだみらいプロジェクトの 施策の目標		感染症や食中毒等を予防し、発生時には迅速な対応をする体制を整備します																									
事業概要	内容	<p>新型コロナウイルス感染拡大により、高齢者の方を始め、重症化する恐れが高い方々には、緊張を強いられる日々が続いています。また、その方々と同居するご家族も、無症状のまま自身が感染源となることへの不安を抱く日々となっています。</p> <p>区では、無症状の方向けにPCR検査費用の助成を行うことで、感染の早期発見による重症化リスクの軽減と、周囲へ感染させてしまうことへの不安感の緩和を図ります。</p> <p>(1) 対象となる検査 医療機関で受検する自費診療のPCR検査</p> <p>(2) 助成額 1回あたり上限2万円 月1回、最大3回まで受検可能</p>																									
	事業開始年度	令和3年度																									
事業費	予算現額	決算額		執行率																							
	523,986,000円	2,469,212円		0.5%																							
事業実績	○令和3年度実績																										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>件数</th> <th colspan="2">助成額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>65歳以上</td> <td>60件</td> <td colspan="2">1,122,555円</td> </tr> <tr> <td>基礎疾患あり</td> <td>18件</td> <td colspan="2">329,758円</td> </tr> <tr> <td>65歳以上又は基礎疾患のある方と同居</td> <td>30件</td> <td colspan="2">552,100円</td> </tr> <tr> <td>濃厚接触者と同居</td> <td>24件</td> <td colspan="2">434,000円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>132件</td> <td colspan="2">2,438,413円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※令和3年度当初、無症状者向けにPCR検査を実施する医療機関数が少なかったことや、5月下旬から新型コロナウイルスワクチン予防接種体制が整備され接種率が向上したことにより、無症状者の自費診療分の申請が少なかったため執行率が低くなりました。</p>				区分	件数	助成額		65歳以上	60件	1,122,555円		基礎疾患あり	18件	329,758円		65歳以上又は基礎疾患のある方と同居	30件	552,100円		濃厚接触者と同居	24件	434,000円		合計	132件	2,438,413円
区分	件数	助成額																									
65歳以上	60件	1,122,555円																									
基礎疾患あり	18件	329,758円																									
65歳以上又は基礎疾患のある方と同居	30件	552,100円																									
濃厚接触者と同居	24件	434,000円																									
合計	132件	2,438,413円																									
実績を踏まえた評価・課題 令和5年度予算への対応	<p>本事業の予算計上後、国や東京都によるPCR検査の実施体制が拡充されたことにより、区内の医療機関や検査会場において広く検査が行われるようになりました。区の実績としてPCR検査の認知度向上や感染への不安解消に一定程度寄与したものの、本助成事業の受検実績の推移や区内のPCR検査体制の実情に鑑み、令和3年度で事業を完了しました。</p> <p>今後も区民の生命と健康を守るため、区内の感染状況を見極めながら、感染症発生時の体制整備に努めていきます。</p>																										
所管課 保健福祉部 福祉総務課		決算参考書	174頁	R3予算の概要 81頁																							

26 住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金【補正予算】

ちよだみらいプロジェクトの 施策の目標		福祉サービスの質の維持・向上に努めるとともに、生活 困窮者に対する生活支援を強化します			
事業概要	内容	<p>国の令和3年度補正予算（第1号）の成立を受け、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、様々な困難に直面した方々が、速やかに生活・暮らしの支援を受けられるよう、住民税非課税世帯等に対して臨時特別給付金を給付します。</p> <p>(1) 対象者</p> <p>①住民税非課税世帯</p> <p>②家計急変世帯</p> <p>(2) 支給額</p> <p>1世帯あたり10万円</p>			
	事業開始年度	令和3年度			
事業費	予算現額		決算額	執行率	
	(1) 給付金	546,000,000円	358,500,000円	65.7%	
	(2) 事務費	28,195,000円	10,263,111円	36.4%	
事業実績	○令和3年度実績				
	【給付実績】				
		住民税非課税世帯		家計急変世帯	
		件数	給付対象に対する割合	件数	給付対象に対する割合
	給付対象者数（想定）	5,247件		360件	
申請数	3,578件	68.2%	7件	1.9%	
給付数	3,578件	68.2%	7件	1.9%	
※事務費については、令和4年度も事業を継続することに伴い、支払いの一部を令和4年度に繰り越したため、執行率が低くなりました。					
実績を踏まえた評価・課題 令和5年度予算への対応	<p>令和3年度における住民税非課税世帯（想定）への給付金支給率は68.2%となっているものの、家計急変世帯（想定）への支給率は1.9%（7世帯）に留まったことから、本事業のさらなる周知に努めてきました。</p> <p>令和4年度は、令和3年度に受給できていない世帯に対して、令和4年度課税情報を活用したプッシュ型給付を実施します。</p> <p>なお、本事業は時限事業であるため、令和4年度で完了します。</p>				
所管課 保健福祉部 生活支援課	決算参考書	174頁	R3予算の概要	-	

27 相談体制の充実関連事業

ちよだみらいプロジェクトの 施策の目標		高齢者が安心して暮らせる地域づくりに向け、地域包括 ケアシステムを構築・推進します		
事業概要	内容	<p>地域包括支援センターを麴町・神田地区に各1か所（名称：高齢者あんしんセンター）、高齢者総合サポートセンター（かがやきプラザ）内に相談センターを設置し、高齢者の生活や介護など様々な相談に対して、適時、問題解決に向けた支援を行っています。相談センターは、24時間365日有人体制で相談を受け付けているほか、医療・介護の連携支援や各種サービスのコーディネートを行っています。また、それぞれのセンターでは、関係機関と連携し、認知症支援や介護・福祉の人材育成などにも積極的に取り組み、高齢者及びその家族が住み慣れた地域で安全に安心して暮らせるよう、地域包括ケア体制の構築を進めています。</p> <p>令和3年度も前年度に引き続き、高齢者あんしんセンター神田をモデルケースとして、戸別訪問や電話訪問を行う高齢者見守り相談窓口事業を実施し、相談体制の機能強化を図ります。</p>		
	事業開始 年度	平成18年度		
事業費	予算現額		決算額	執行率
	(1) 高齢者総合サポートセンター管理運営（総合相談）	133,000,000円	132,487,000円	99.6%
	(2) よろず総合相談	49,361,000円	44,938,290円	91.0%
	(3) 包括的支援事業（介護保険特別会計）	43,500,000円	42,700,000円	98.2%
事業実績	○令和3年度実績 相談件数			
	総合相談		包括的支援事業	
	相談センター麴町地区	3,083件	区	1,148件
	相談センター神田地区	5,467件	あんしんセンター麴町	8,222件
	地域よろずケア		あんしんセンター神田	5,677件
	区	63件	見守り相談窓口事業 (高齢者あんしんセンター神田)	
あんしんセンター麴町	1,205件	戸別訪問：2,896件 電話訪問：24件		
あんしんセンター神田	620件			
実績を踏まえた評価・課題 令和4年度取組状況 令和5年度予算への対応	<p>ひとり暮らし高齢者や認知症高齢者が増加し、頻回な関わりが必要なケースや長期的な支援が必要なケースが増えていることから、相談支援体制の強化が課題です。</p> <p>令和4年度は、神田地域で実施している「高齢者見守り相談窓口」事業を、新たに麴町地域でも開始します。本事業では、高齢者の日常的な地域での見守りを行うとともに、介護保険等のサービス利用がない高齢者宅を社会福祉士や介護支援専門員等の有資格者2名が戸別訪問することで、支援が必要な高齢者の掘り起こしを行い、関係機関と連携した専門的な見守りを行います。</p> <p>令和5年度も引き続き、高齢者がいる世帯の生活上の悩みごとなどにきめ細かく親身に対応し、住み慣れた地域で安全に安心して在宅生活ができるよう支援していきます。また、ひとり暮らし高齢者や高齢者のみ世帯が安心して暮らし続けられるよう、平常時の見守りや災害対応などの緊急時対応に資する「千代田区安心生活見守り台帳」が、3年に一度の更新時期を迎えるため、その準備を進めます。</p>			
	所管課 保健福祉部 在宅支援課	決算参考書 180、370頁	R3予算の概要	93頁

28 高齢者総合サポートセンター管理運営（指定管理料）【拡充】

ちよだみらいプロジェクトの 施策の目標		高齢者が安心して暮らせる地域づくりに向け、地域包括 ケアシステムを構築・推進します		
事業概要	内容	<p>高齢者総合サポートセンターのうち、「高齢者活動拠点」、「人材育成・研修拠点」、「多世代交流拠点」は、千代田区社会福祉協議会が指定管理者として運営し、そのノウハウや地域や多様な人材とのつながりを活かし、介護予防、多世代交流、福祉人材の育成等を行っています。</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大の影響により、外出自粛等による高齢者の意欲・体力の低下が懸念される中、総合受付に警備員を配置し、入館時に来館者に対する検温による健康確認・手指消毒の徹底を行う等の感染防止策を徹底し、安心して施設の利用ができるよう努めています。</p>		
	事業開始 年度	平成27年度		
事業費	予算現額	156,781,000円	決算額	154,316,300円
			執行率	98.4%
事業実績	<p>○令和3年度実績</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けた事業運営となりましたが、感染状況に合わせて実施方法を見直し、施設利用の制限緩和や対面事業の再開等、柔軟な運営に努めました。</p> <p>(1) 高齢者活動拠点</p> <p>① 高齢者活動センター利用人数：延べ31,836人、入浴者数：延べ13,418人</p> <p>② トレーニングマシンスペースの運営強化：281回実施、延べ4,570人</p> <p>③ フレイル予防事業（身体の勉強会、インボディ測定会、スポット体操、栄養講座等）：62回実施、延べ430人</p> <p>(2) 人材育成・研修拠点</p> <p>① 研修事業等実施回数及び参加人数：109回実施、延べ1,888人</p> <p>② 介護・福祉・医療職向け研修：56回実施、延べ1,201人</p> <p>(3) 多世代交流拠点</p> <p>① 多世代事業実施回数及び参加人数：23回実施、延べ1,678人</p> <p>② 離れていても多世代交流！チャオチャンネル：動画配信21回、延べ2,644回視聴</p> <p>(4) 総合受付の充実</p> <p>総合受付において警備員による来館者への検温・手指消毒を徹底</p>			
	実績を踏まえた評価・課題 令和4年度取組状況 令和5年度予算への対応	<p>高齢者活動センターでは、長引く自粛生活による高齢者の閉じこもりや筋力等の低下への対応が課題となっています。令和4年度は、介護予防やフレイル予防事業、季節行事等の充実を図り、高齢者の健康づくり・生きがいづくり・社会参加を促進していきます。また、高齢者の情報格差問題に対応するため、パソコンやスマートフォン等の社会参加に必要とされる機器の使用についての支援も強化していきます。</p> <p>研修センターでは、コロナ禍での高齢者の生活支援を行うボランティアの養成や介護職の仕事の魅力発信と区内事業所への就職支援が課題となっています。令和5年度は、令和4年度に実施している人材の育成と就職の一体的支援事業を見直し、就労支援の充実をめざします。</p> <p>多世代交流事業では、コロナ禍で人と人とのつながりが分断され、異なる世代の人たちとの交流の機会も減っていることが課題です。令和4年度は、遊びの要素を取り入れ、会話を楽しめる工夫を行い、参加者同士のつながりづくりに取り組みます。令和5年度は、企業や大学、大使館等、千代田区の特色を生かした社会資源と連携したプログラムを拡充し、多世代の交流を図り、顔の見える関係づくりを進めます。</p> <p>総合受付での来館者への感染予防対策は令和4年度以降も引き続き継続していきます。</p>		
所管課 保健福祉部 在宅支援課	決算参考書	180頁	R3予算の概要	98頁

29 介護施設等への新型コロナウイルス感染予防対策関連事業【新規】

ちよだみらいプロジェクトの 施策の目標		高齢者が安心して暮らせる地域づくりに向け、地域包括 ケアシステムを構築・推進します		
事業概要	内容	<p>(1) 介護事業所運営助成 新型コロナウイルス感染拡大による、人材確保の困難、感染予防の経費支出、利用辞退など多岐にわたる影響を受ける介護事業者に対して、事業継続を可能とし、区民にとって必要な介護サービスを確保するための運営助成を行います。</p> <p>(2) 在宅要介護者の受入体制整備事業 高齢者を介護する人が新型コロナウイルスに感染し、介護者が確保できない場合に、要介護者を受け入れる体制を整えています。感染した家族が安心して療養に専念でき、重症化リスクの高い要介護高齢者の家庭内感染を防ぐことが目的です。要介護者本人がPCR検査をして陰性が確認された場合に、介護者の療養が終了するまでの期間、自己負担なしで医療機関に受け入れます。</p> <p>(3) 介護施設等PCR検査 新型コロナウイルス感染症の感染予防のため、区内の入所・入居型介護施設の新規入所・入居者、区内の介護事業所の介護従事者を対象にPCR検査を実施します。利用者・従事者から感染が発生した事業所に対しては、集中的なPCR検査を実施し、感染拡大を予防します。</p>		
	事業開始 年度	(1) 令和2年度 (2) 令和3年度 (3) 令和2年度		
事業費	予算現額		決算額	執行率
	(1) 介護事業所運営助成	121,320,000円	107,970,000円	89.0%
	(2) 在宅要介護者の受入体制整備事業	4,890,000円	3,599,444円	73.6%
	(3) 介護施設等PCR検査	54,067,000円	49,167,527円	90.9%
事業実績	○令和3年度実績			
	<p>(1) 介護事業所運営助成 助成額は事業所種別ごとに定額として10事業種61事業所に対し助成しました。</p> <p>(2) 在宅要介護者の受入体制整備事業 ①受入施設 国家公務員共済組合連合会 九段坂病院 (令和2年12月25日に当事業に関する協定を締結) ②受入件数 8件(受入施設まで区が手配する車両にて移送を実施)</p> <p>(3) 介護施設等PCR検査 ①検査実施数 3,321件 ②対象施設 (ア) 施設入所・入居者 305件 (イ) 介護事業所従事者 3,016件</p>			
令和5年度予算への対応	実績を踏まえた評価・課題			
	<p>介護事業所運営助成は、所期の目的を達成したため、令和3年度で完了しました。在宅要介護者の受入体制整備事業は、今後の新型コロナウイルス感染拡大に備え、新たな受入施設となりうる病院や介護施設等の協力を得ていく必要があります。令和4年度は、現在の受入施設における受入れが困難となるような場合に備え、事業の新たな対応方法についても検討し、要介護高齢者の安全な生活環境の確保を図ります。令和5年度は、新型コロナウイルス感染症の感染状況等を踏まえ、事業のあり方や継続性について検討します。</p> <p>介護施設等PCR検査は、今後の新型コロナウイルス感染拡大に備え、訪問系事業従事者への検査について検討を進める必要があります。令和4年度は、介護従事者の負担とならないよう区役所での集中検査から各事業所で受検できるよう検査体制の一部を見直し実施しています。令和5年度は、新型コロナウイルス感染症の感染状況を注視するとともに介護施設・事業所と連携を密にし、実施について協議・検討していきます。</p>			
所管課 保健福祉部 高齢介護課、在宅支援課	決算参考書	180、182頁	R3予算の概要	96頁

30 介護施設改修助成【拡充】

ちよだみらいプロジェクトの 施策の目標		高齢者が安心して暮らせる地域づくりに向け、地域包括 ケアシステムを構築・推進します		
事業概要	内容	<p>地価の高い千代田区では、区有地や区有建物を低額で貸し付けることで社会福祉法人を誘致し、特別養護老人ホームや認知症高齢者グループホームなどの介護保険施設を整備しています。また、運営を行っている社会福祉法人に対して、大規模改修工事等や環境配慮に対する設備改修に係る経費の一部を助成し、利用者へのサービスや施設機能の向上を図ります。</p> <p>○大規模改修工事等助成の主な内容</p> <p>(1) 区内介護保険施設のサービス需要の変化に伴う、改修に係る工事費の助成を行います。(補助率：1/2)</p> <p>(2) 区内介護保険施設の停電時の非常電源確保のため、蓄電池やポータブル発電機の購入に対する助成を行います。</p> <p>蓄電池 (補助率：1kwh×20万円、上限100万円)</p> <p>ポータブル発電機 (補助率：10/10、上限10万円)</p>		
	事業開始 年度	平成30年度		
事業費	予算現額	決算額	執行率	
	59,730,000円	54,530,000円	91.3%	
事業実績	○令和3年度実績			
	<p>(1) 増床改修工事に係る費用への助成 区内介護保険施設である「ジロール麹町」における地域密着型特別養護老人ホームの増床改修工事に要する費用に対して助成を行いました。</p> <p>【増床実績】 改修前：24床 改修後：29床</p> <p>(2) 非常電源確保に係る費用への助成 区内介護保険施設である「かんだ連雀」及び「THE BANCHO」における蓄電池及びポータブル発電機の購入に要する費用に対して助成を行いました。</p> <p>【購入実績】</p> <p>①かんだ連雀 蓄電池 2台 ポータブル発電機 2台</p> <p>②THE BANCHO 蓄電池 2台 ポータブル発電機 2台</p>			
令和5年度予算への対応 実績を踏まえた評価・課題	<p>本事業のうち、大規模改修工事等への助成については、現時点で対象（創設又は当該助成を受けて行った大規模改修工事等完了後から10年以上経過している施設のみ）となる介護保険施設全てに実施しました。</p> <p>昨今の風水害等、多発する災害状況を踏まえ、今後も蓄電池及びポータブル発電機の購入に係る費用への助成等を引き続き実施し、高齢者施設における災害時の備えについてさらに強化していく必要があります。</p> <p>令和5年度は、令和4年度に引き続き、区内の各介護保険施設の状況に応じて、必要な助成を実施することで、高齢者福祉の向上を図ります。</p>			
所管課 保健福祉部 高齢介護課	決算参考書	180頁	R3予算の概要	95頁

31 フレイル対策事業

ちよだみらいプロジェクトの 施策の目標		高齢者が安心して暮らせる地域づくりに向け、地域包括 ケアシステムを構築・推進します		
事業概要	内容	<p>高齢者は、健常な状態から「フレイル（虚弱）」を経て要介護状態に至ると考えられていますが、フレイルは対策次第で健常な状態に戻ることができる大切な段階でもあります。このため、早くからフレイルの状態や兆候を知り、予防に取り組むための対策が必要です。</p> <p>令和3年度は、フレイル対策が重要であることを啓発するため、運動や栄養、口腔機能、社会参加をテーマにしたオンライン講座の回数を年間6コースに増やして実施します。また、握力や歩行速度等を測定し、一人ひとりの状態に適したアドバイスを実施するフレイル健診を実施し、自宅での運動効果を確認する機会の提供と地域のグループ活動に関する情報提供を行います。</p>		
	事業開始 年度	平成30年度		
事業費	予算現額	決算額	執行率	
	10,603,000円	7,704,052円	72.7%	
事業実績	○令和3年度実績			
	<p>(1) オンラインフレイル予防講座 タブレットや通信機器を無償で貸し出し、フレイルとインターネットの利用法を一緒に学べるオンライン講座を年間6コースに増やし実施しました。 ・オンラインフレイル予防講座：6コース実施、延べ278人参加</p> <p>(2) フレイル健診 加齢とともに低下していく運動機能・認知機能・口腔機能等を測定するフレイル測定会を、令和3年度に初めてかがやきプラザと万世橋区民館の2会場で実施し、個別アドバイスや情報提供を行いました。 ・フレイル測定会：2回実施、計73人参加</p> <p>(3) ちよフル体操 コロナ禍での体力低下を防ぐため、九段坂病院の理学療法士監修の下で作成した「ちよフル体操」を区ホームページに掲載するとともに、テレビ番組や厚生労働省のイベントで普及活動を行いました。</p>			
実績を踏まえた評価・課題 令和4年度取組状況 令和5年度予算への対応	<p>フレイルの概念や介護予防の必要性については、高齢者のみならず、その家族、若い世代の方も巻き込んだ普及啓発が必要です。</p> <p>令和4年度は、新型コロナウイルス感染症対策を継続しつつ、オンライン講座だけでなく、対面講座や、在住・在勤・在学者を対象とした講演会・イベントを実施し、若い世代も含めた普及啓発に取り組んでいきます。また、フレイル測定会を引き続き実施し、高齢者が自身のフレイルの状態を把握することで、自発的に対策に取り組むことができるよう啓発していきます。</p> <p>令和5年度は、講座や測定会を引き続き実施し、フレイル対策に取り組む重要性を幅広く普及啓発していきます。</p>			
	所管課 保健福祉部 在宅支援課	決算参考書	180頁	R3予算の概要


32 認知症関連事業

ちよだみらいプロジェクトの 施策の目標		認知症高齢者を地域で見守り、支えるしくみを強化しま す		
事業概要	内容	<p>(1) 認知症支援サービス（一般会計） 認知症になっても様々なサービスを利用しながら、安心して生活できる よう、認知症ケアパス（「認知症ケアの手引き」）の普及を図ります。 また、介護予防把握事業の郵送調査に未回答の高齢者に対して看護師に よる訪問調査を実施し、地域に潜在する認知症等ハイリスク高齢者を把握 します。把握した事例は、訪問看護師による見守り相談につなげ、適切な 時期に必要なサービス支援を受けられる体制を整備します。</p> <p>(2) 認知症総合支援事業（介護保険特別会計） 認知症高齢者の支援を早期から行うために、認知症地域支援推進員を配 置して医療と介護の連携した支援を強化します。また、認知症サポーター の養成、キャラバン・メイトの資質向上や「チームオレンジ」育成に向け た取組みを行うほか、「本人ミーティング実桜（みお）の会」を継続的に 開催し、認知症にやさしい地域づくりを進めます。</p>		
	事業開始 年度	(1) 平成23年度 (2) 平成27年度		
事業費	予算現額		決算額	執行率
	(1) 認知症支援サービス	8,512,000円	7,250,620円	85.2%
	(2) 認知症総合支援事業（介護保険特別 会計）	13,360,000円	12,455,362円	93.2%
事業実績	(1) 認知症支援サービス			
	①認知症早期発見			
	訪問調査対象者87人中46人に訪問調査を実施し、支援が必要と判断した 15人のうち8人について、早期対応につなげました。			
	②認知症ケア推進チーム定例会		年12回開催	
	③訪問看護ステーションによる認知症相談支援業務		相談支援 8人	
	④認知症ケアパスの配布（区民及び在勤・在学者、医療・介護関係者等）			
	認知症ガイドブック（令和3年度改訂）		913部	
	認知症ケアパス別冊（令和3年度作成）		948部	
	認知症ケアの手引き		550部	
	(2) 認知症総合支援事業			
①認知症初期集中支援推進事業		初期集中支援 17件		
②認知症地域支援推進員		認知症相談（実人数） 211人		
③認知症サポーター養成講座		35回実施 サポーター数 1,456人		
④認知症サポーターステップアップ講座		1回実施 5人参加		
⑤キャラバン・メイトフォローアップ講座		内容充実に向けたアンケート調査実施		
⑥認知症カフェ		麴町地区 12回、神田地区 17回		
⑦実桜の会		年12回開催		
実績を踏まえた評価・課題 令和5年度予算への対応	今後ますます増加が予想される認知症の人が地域で安全に安心して暮らせる社会を 実現するためには、共に支え合い、地域で一丸となった取組みが必要です。			
	令和4年度は、認知症に正しい理解を持ち、認知症の人を支える取組みを積極的に 実施している企業や大学を「千代田区認知症サポート企業・大学」として登録し、区 ホームページへの掲載、ステッカーの配布や区の事業でのPR等、広く公表すること 等により、認知症の人にやさしいまちづくりの実現に向けた社会的機運の醸成を 図ります。令和5年度は、引き続き、認知症サポーターの活用、企業・大学との 連携を図り、認知症になっても地域で安全に安心して暮らせるまちづくりに向け た取組みを進めます。			
所管課 保健福祉部 在宅支援課		決算参考書 182、372頁	R3予算の概要	100頁

33 (仮称) 神田錦町三丁目福祉施設整備の推進

ちよだみらいプロジェクトの 施策の目標		高齢者が安心して暮らせる地域づくりに向け、地域包括 ケアシステムを構築・推進します 障害があっても暮らしやすい地域をめざします	
事業概要	内容	<p>障害のある方や要介護要支援高齢者の増加を見据え、旧千代田保健所敷地において、障害者支援施設、高齢者施設及び地域交流機能を有する施設をDBO※方式で整備することを計画しています。</p> <p>令和3年度は、障害者支援施設、高齢者施設の運営予定者を選定し、施設内容や運営条件を整理します。また、地域交流スペースの活用や建物規模を検討し、設計業者、施工業者等の選定準備を行います。</p> <p>※DBO方式とは、設計・建設と維持管理・運営等を一括して民間事業者へ発注する方式です。</p> <p>※事業費は、障害者福祉課、高齢介護課分の合計です。</p>	
	事業開始 年度	令和元年度	
事業費	予算現額	決算額	執行率
	29,455,000円	27,296,725円	92.7%
事業実績	<p>○令和3年度実績</p> <p>(1) 事業内容</p> <p>①住民説明会等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民説明会(参加者数 令和3年4月25日 43人、令和3年8月1日 44人) ・アンケート調査(神田公園出張所地区に配付 5,203件) <p>②福祉施設運営予定者の選定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害者支援施設：社会福祉法人 平成会 ・高齢者施設：社会福祉法人 新生寿会 <p>(2) 施設の概要(予定)</p> <p>①整備地・敷地面積：神田錦町三丁目10番地 694㎡</p> <p>②主な機能</p> <p>障害者支援施設：日中サービス支援型共同生活援助(グループホーム)、短期入所、事業者提案施設</p> <p>高齢者施設：認知症高齢者グループホーム、小規模多機能型又は看護小規模多機能型居宅介護</p> <p>共用施設：地域交流機能、福祉避難所等</p>		
令和5年度予算への対応 実績を踏まえた評価・課題	<p>当該施設は区として初めてのDBO方式で整備する施設です。地域に根付いた施設とするため、計画内容等について丁寧に説明を行いながら事業を進めていくことが重要です。</p> <p>令和4年度は、令和3年度に選定した福祉施設運営予定者からの意見を参考に、施設の機能・規模を具体化した実施計画を策定し、DBO事業者を公募します。</p> <p>令和5年度は、DBO方式による事業者を決定し、既存建物の解体工事、新施設の設計を行います。</p>		
所管課 保健福祉部 障害者福祉課、高齢介護課	決算参考書	182頁	R3予算の概要 105頁

34 障害者に対する理解促進【拡充】

<p>ちよだみらいプロジェクトの 施策の目標</p>		<p>障害があっても暮らしやすい地域をめざします</p>		
<p>事業概要</p>	<p>内容</p>	<p>区では、障害等のあるなしに関わらず、地域を構成する全ての人々が互いを尊重し、支え合う共生社会の実現に向けて、障害や障害者に対する理解の促進を図っています。</p> <p>こうした共生社会の実現に向けた障害者施策の展開に活かすとともに、各地域での「良かったこと」を通じて、地域で理解の輪を広げていくため、令和元年度に試行実施した「千代田区の良かったこと調査」の対象を区内全ての障害等のある方に拡大して実施します。</p> <p>この調査は、不便だった「コト」や「モノ」の改善に向け、一般的な「不便さ調査」とは発想を変えた、プラス面をより活かす働きを持つ調査です。</p>		
	<p>事業開始年度</p>	<p>昭和56年度</p>		
<p>事業費</p>	<p>予算現額</p>	<p>決算額</p>	<p>執行率</p>	
	<p>6,022,000円</p>	<p>4,183,060円</p>	<p>69.5%</p>	
<p>事業実績</p>	<p>○令和3年度実績</p> <p>(1) 「千代田区の良かったこと調査」実施</p> <p>千代田区に在住の全ての障害等のある方を対象に、千代田区の良かったことを尋ねるアンケート調査を実施しました。視覚障害などで1人での回答が難しい方には同様の調査票を用いてヒアリング調査を行いました。</p> <p>対象者数：2,077人、回答者数：790人 アンケート時期：令和3年9月22日～12月3日</p> <p>(2) 報告書及びパンフレットの作成</p> <p>(1)の調査結果から報告書を作成しました。また、抜粋した回答を掲載した、区内へ広く啓発するための配布用パンフレットを作成しました。</p>			
	 <p>▲配布用パンフレット</p>			
<p>実績を踏まえた評価・課題 令和4年度予算への対応</p>	<p>障害等のある方から見た千代田区の強みとして、インフラや区民サービスの充実度に加えて、まちの人々の親切や各店舗のサービス・モラルの高さが特に多く評価されました。その一方で、そもそもどんな行政サービスがあるのかわからないといった意見が多く見られたことから、情報提供の方法やあり方が課題として挙がりました。</p> <p>そのため、令和4年3月発行の「障害者福祉のしおり（補足版）」に、自分の受けられるサービスを見つけやすいよう障害別の目次を追記するなどの対応を行いました。</p> <p>令和5年度は、令和4年度に引き続き、区内商店街や交通機関等に対して、調査報告書の概要版を配布し、広く周知していきます。</p>			
<p>所管課 保健福祉部 障害者福祉課</p>	<p>決算参考書</p>	<p>182頁</p>	<p>R3予算の概要</p>	<p>107頁</p>

35 障害者福祉センターえみふる管理運営

ちよだみらいプロジェクトの 施策の目標	障害があっても暮らしやすい地域をめざします
------------------------	-----------------------

事業概要	内容	身体・知的・精神障害者や難病のある方が利用する地域福祉の拠点として、障害者福祉センター「えみふる」を開設し、指定管理者制度により運営をしています。グループホーム（共同生活援助）やショートステイ（短期入所）、計画相談や生活介護の事業を行い、障害等のある方の地域での生活を多角的に支援します。
	事業開始年度	平成21年度

事業費	予算現額		決算額	執行率
	(1) 土地賃借料	15,765,000円	15,615,841円	99.1%
	(2) 指定管理料	267,447,000円	266,447,000円	99.6%
	(3) 利用助成	1,812,000円	1,812,000円	100.0%
	(4) 維持補修等	1,688,000円	0円	0.0%

事業実績	○令和3年度実績						
	(1) 障害者福祉センター利用実績			(2) 生活介護実績			
		令和3年度	令和2年度		令和3年度	令和2年度	
	延べ利用者総数	9,639人	9,485人	利用者数	2,242人	1,884人	
	1 地域活動支援センター（I型） （日中一時支援を含む）	7,084人	7,287人	定員	20人	20人	
	2 グループホーム・短期入所	2,555人	2,280人	実利用者数	13人	11人	
	(3) 利用助成実績						
		令和3年度			令和2年度		
	助成内容	利用人数	実利用人数	助成金額	利用人数	実利用人数	助成金額
	療浴事業利用助成	168人	5人	84,000円	148人	5人	74,000円
グループホーム利用助成	1,460人	4人 入所0人 退所0人	1,728,000円	1,226人	5人 入所1人 退所1人	1,450,949円	
合計	1,628人	9人	1,812,000円	1,374人	10人	1,524,949円	
※維持補修等は、建物全体にわたる工事がなかったことにより、未執行となりました。							

実績を踏まえた評価・課題 令和4年度予算への取組状況 令和5年度予算への対応	千代田区障害福祉プランに掲げる地域生活支援拠点等の整備※にあたっては、基幹型相談機能の充実や（仮称）神田錦町三丁目福祉施設との役割分担の明確化が必要です。令和4年度は、地域生活支援コーディネーターを創設し、地域とのつながりや関係機関との調整機能を強化し、地域生活支援拠点としての整備を進めます。令和5年度以降は、（仮称）神田錦町三丁目福祉施設の機能を整理することで地域生活支援拠点の役割を明確化し、障害者を地域で支える体制を構築します。※地域生活支援拠点等の整備とは、障害者の重度化・高齢化や「親亡き後」を見据え、居住支援のための機能（相談、体験の機会・場、緊急時の受入れ・対応、専門性、地域の体制づくり）を、地域の実情に応じた創意工夫により整備し、障害者の生活を地域全体で支えるサービス提供体制の構築を意味します。
--	--

所管課 保健福祉部 障害者福祉課	決算参考書	186頁	R3予算の概要	104頁
------------------	-------	------	---------	------

36 ジョブ・サポート・プラザ ちよだ管理運営【拡充】

ちよだみらいプロジェクトの 施策の目標		障害者の就労を支援します		
事業概要	内容	平成19年4月1日から千代田区立障害者福祉施設「ジョブ・サポート・プラザ ちよだ」を開設し指定管理者制度にて運営してきましたが、令和4年3月31日をもって指定管理期間が満了となるため、令和4年4月1日から令和14年3月31日までの指定管理者の選定を行っています。 指定管理者を変更する場合でも、現指定管理者と新たな指定管理者を並行稼働させることにより、着実かつ円滑に事業を引き継ぎ、安定した事業運営をめざします。		
	事業開始年度	平成19年度		
事業費	予算現額		決算額	執行率
	(1) 指定管理料	29,998,000円	29,408,000円	98.0%
	(2) 準備業務支援	6,460,000円	2,792,000円	43.2%
事業実績	○令和3年度実績			
	(1) 指定管理			
	提供サービスの種類	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	就労移行支援(定員:6人)	0人	0人	0人
就労継続支援B型(定員:24人)	18人	16人	16人	
生活介護(定員:10人)	10人	10人	10人	
(2) 準備業務支援				
	延べ日数	係長	主任	支援員
11月	22日	0日	22日	0日
12月	20日	0日	20日	0日
1月	51日	20日	12日	19日
2月	80日	20日	20日	40日
3月	83日	18日	22日	43日
合計	256日	58日	96日	102日
※準備業務支援については、効率的な事業引継が行われたことにより、執行率が低くなりました。				
実績 令和4年度 令和5年度 予算への 取組状況 への対応	令和3年度中に実施した引継ぎにより、スムーズに指定管理者が変更されましたが、利用者にとって快適に施設を利用できる状況が安定的に続くとともに、新指定管理者のノウハウが最大限に活かされた運営となることが重要です。			
	令和4年度は、新指定管理者の運営初年度となるため、連絡会等の場を活用して連携を密にしながら、区として適正に管理・監督していきます。 令和5年度は、令和4年度の運営で見た課題や要望を整理し、必要な対応を行います。			
所管課 保健福祉部 障害者福祉課		決算参考書	186頁	R3予算の概要 109頁

37 出産・子育て支援【拡充】

ちよだみらいプロジェクトの 施策の目標	安心して子育てができ、子どもたちがすくすくと育つ地域づくりを進めます
------------------------	------------------------------------

事業概要	内容	<p>妊娠期から出産・子育て期まで切れ目のない支援を行うための事業を充実させます。</p> <p>(1) 妊婦全数面接（ちよ●●まま面談） 妊娠中のことや育児に関する各種相談に応じ、産後ケア事業をはじめ区が実施する様々なサービス等の情報を提供します。なお、心身の不調や育児不安、家族の支援を受けられない等、リスクを抱え継続的な支援が必要と思われる方には支援プランを作成し、関係機関と連携した支援を行います。</p> <p>(2) 産後ケア事業 支援が必要な産婦を対象として、病院等での宿泊や助産師の家庭訪問により、産婦の心身のケアや育児指導等の支援を行います。</p> <p>(3) 妊婦用タクシー券の配付 新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、これから出産を迎える妊婦の方へ、安心して出産準備等ができるよう健診等に活用できるタクシー券を配付します。</p>
	事業開始年度	平成29年度

事業費	予算現額	決算額	執行率
	34,131,000円	19,751,966円	57.9%

事業実績	○令和3年度実績			
	(1) 妊婦全数面接（ちよ●●まま面談）			
	妊婦届出数	面談者数	面談率	
	720人	366人	50.8%	
	(2) 産後ケア事業			
宿泊型		訪問型		
利用日数	助成額	利用日数	助成額	
325日	7,463,200円	34日	300,330円	
(3) 妊婦用タクシー券の配付				
配付数				
678冊				
※過去の傾向から産後ケア事業の実績の大幅増を見込んだものの、微増に留まったことにより、委託料の執行率が低くなりました。				

実績を踏まえた評価・課題 令和4年度予算への対応	<p>妊娠期からの切れ目のない支援を実現していく必要があります。そのためには、事業に関する区民の利便性や満足度を、さらに高めていく必要があります。</p> <p>令和4年度は、妊婦全数面接において面談の機会を拡充するため、総合窓口課で妊娠届を提出した妊婦に対し、テレビ電話での面談を開始しています。さらに、面談を実施した方に「とうきょうママパパ応援事業」を活用してこども商品券を贈呈します。産後ケア事業では、訪問型（アウトリーチ型）の対象を現行の産後4か月から産後1年未満まで広げるとともに、専門のスタッフによる相談・指導がホテルで受けられる通所型を新たな取組みとして開始し、産後の孤立化・産後うつ・児童虐待の防止を図ります。</p> <p>令和5年度も引き続き、妊婦との面談率の向上に努め、産後支援を必要とする母子に心身のケアや育児サポート等を行い、安心して子育てができる環境づくりを支援します。</p> <p>妊婦用タクシー券の配付は、公共交通機関の利用機会が高まっていることを踏まえ、令和3年度で終了しました。</p>
-----------------------------	--

所管課 保健福祉部 健康推進課	決算参考書	190頁	R3予算の概要	112頁
-----------------	-------	------	---------	------

38 成人健診、長寿健診、特定健康診査・特定保健指導

ちよだみらいプロジェクトの 施策の目標	一人ひとりの健康づくりを支援します
------------------------	-------------------

事業概要	内容	40歳以上の千代田区国民健康保険加入者を対象として、メタボリックシンドロームの予防に主眼を置いた特定健康診査（国保健診）を実施しています。 さらに、40歳以上の区民には、平成19年度まで実施した「誕生月健診」と同等のサービスを確保するため、区独自の追加検査項目を成人健診として実施しています。また、後期高齢者医療制度加入者を対象に長寿健診を実施しています。
	事業開始年度	平成20年度

事業費	予算現額		決算額	執行率
	(1) 成人健診	76,227,000円	59,309,998円	77.8%
	(2) 長寿健診	23,046,000円	20,116,187円	87.3%
	(3) 特定健康診査・特定保健指導 (国民健康保険事業会計)	34,736,000円	27,386,338円	78.8%

事業実績	○令和3年度実績				
	(1) 健診種別ごとの受診（利用）者数及び受診（利用）率				
		対象者数	受診（利用）者数	受診（利用）率	
				令和3年度	令和2年度
	①成人健診	35,264人	7,724人	21.9%	21.0%
	②長寿健診	5,881人	2,137人	36.3%	34.9%
③国保健診	6,905人	2,448人	35.5%	33.3%	
④国保特定保健指導	271人	32人	11.8%	7.3%	
※国保特定保健指導の対象者数は、国保健診を受診した年度区分で算出しています。また、利用者数は、令和4年5月末日までの累計です。					
(2) 国保健診受診者のメタボリックシンドローム基準該当者、予備群該当者					
基準該当		予備群該当			
人数	該当率	人数	該当率		
373人	15.2%	241人	9.8%		

実績を踏まえた評価・課題 令和4年度予算への対応	各健診とも受診率は改善したものの、コロナ禍以前の水準には達していません。令和4年度は、新たにアニメーション動画により受診勧奨するとともに、令和5年度も多様な媒体・手法により勧奨を行うことで受診率の向上を図ります。 国保健診（特定保健指導を含む）について、令和4年度は、第三期特定健康診査等実施計画及びデータヘルス計画に基づき、受診率向上のため、40歳になる加入者に対し受診への動機づけを促進します。令和5年度は、特定健康診査等実施計画及びデータヘルス計画の改定年度となるため、中間評価や計画の進捗状況を踏まえ、現状と課題を把握し、次期計画を策定します。
-----------------------------	---

所管課 保健福祉部 健康推進課、保険年金課	決算参考書 192、308頁	R3予算の概要 87頁
-----------------------	----------------	-------------

39 予防接種

ちよだみらいプロジェクトの 施策の目標	感染症や食中毒等を予防し、発生時には迅速な対応をする体制を整備します
------------------------	------------------------------------

事業概要	内容	<p>子どもの定期予防接種として、ヒブ等の予防接種を実施しています。任意予防接種では前年度に引き続き、おたふくかぜ等予防接種の全額助成を実施しています。これまで積極的勧奨を差し控えていたHPVワクチンについては、リーフレット等の個別通知を行い対象者へ接種を促します。</p> <p>大人の予防接種は、65歳以上の高齢者を対象に定期のインフルエンザ予防接種と肺炎球菌予防接種を実施し、接種費用を全額助成します。また、予防接種法上の肺炎球菌予防接種の対象とならない高齢者についても、区独自に半額の公費助成を実施し、重篤化の防止を推進しています。令和元年度から風しんの追加的対策が開始され、対象者へ風しん抗体検査及び予防接種に係る費用を全額助成しています。（令和7年3月まで）</p>
	事業開始年度	(1) 昭和23年度 (2) 平成13年度

事業費	予算現額	決算額	執行率	
	(1) 子どもの予防接種	299,561,000円	261,440,845円	87.3%
	(2) 大人の予防接種	77,424,000円	72,363,685円	93.5%

事業実績	○令和3年度実績		
	(1) 子どもの予防接種		
	<p>国からの要請に基づき、子宮頸がんやHPVワクチンに関する情報提供のリーフレットを定期接種対象である小学6年生から高校1年生相当までの区内在住の約1,300人に配付しました。また、HPVワクチン接種勧奨の再開を受けて、令和3年度時点で中学3年生から高校3年生相当までの区内在住の女子を対象に、HPVワクチンの接種期間を令和5年10月31日まで延長しました。さらに、高校2年生から高校3年生相当までの区内在住の女子で、定期予防接種の期間が過ぎてからHPVワクチンを自己負担で接種した方に対し、自己負担額の償還払いを行いました。</p>		
	(2) 大人の予防接種		
	65歳以上対象の予防接種		
	種別	対象	対象人員
肺炎球菌（定期）	65歳以上の節目年齢者	1,299人	309人
肺炎球菌（任意）	65歳以上（定期対象者を除く、過去に接種履歴が無い方のみ）	3,713人	294人
インフルエンザ	65歳以上	11,228人	6,966人
風しんの抗体検査及び第5期の定期予防接種			
対象人員	抗体検査者数	予防接種者数	
7,968人	100人	21人	

令和5年度予算への対応 実績を踏まえた評価・課題	<p>子どもの予防接種は、現在でも接種率は高い状態です。令和4年度は、HPVワクチンの接種勧奨の再開に加えて、これまで接種を差し控えていた方に対して令和6年度までキャッチアップ接種を実施し、公平な接種機会を確保しています。令和5年度は、Webアプリや窓口対応にて積極的な勧奨を行うなどして、子どもの予防接種全体としてより高い接種率となるよう努めます。</p> <p>大人の予防接種は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、前年度比接種率が低くなりました。肺炎球菌やインフルエンザは、区の広報紙やホームページ等で引き続き周知を行っています。風しんの追加的対策については、国により令和6年度までの延長が決定されたため、令和4年度は対象者に改めて風しん抗体検査・予防接種クーポンを一斉発送します。令和5年度も引き続き、抗体検査の実施率・予防接種の接種率を高めるよう努めます。</p>
-----------------------------	--

所管課 保健福祉部 健康推進課	決算参考書	192頁	R3予算の概要	77頁
-----------------	-------	------	---------	-----

40 新型コロナウイルス感染症関連事業【拡充・補正予算】

ちよだみらいプロジェクトの 施策の目標		感染症や食中毒等を予防し、発生時には迅速な対応をする体制を整備します		
事業概要	内容	<p>(1) 感染症健康診断 従来の感染症対策に加えて、新型コロナウイルス感染症に適切に対応するための体制を確保していきます。</p> <p>(2) 感染症公費負担 新型コロナウイルス感染症等に係る医療費の公費負担を行っています。また、感染症患者を病院等へ移送する際に、必要に応じて民間救急車等により適切な移送を行います。</p> <p>(3) 自宅療養者等への支援 訪問看護ステーションに業務の一部を委託します。また、入院治療が必要な方のために、区内病院と診療体制の確保について連携します。</p> <p>(4) 健康危機管理対策 新型コロナウイルス感染症の検体採取を行う九段下仮設診療所を運営するほか、災害拠点病院等及び三師会を支援します。</p> <p>(5) 新型コロナウイルスPCR検査 九段下仮設診療所等で採取された検体について、民間検査事業者に委託し、迅速に検査結果を伝える体制を確保していきます。</p>		
	事業開始年度	(1) 平成11年度 (2) 平成11年度 (3) 令和3年度 (4) 平成21年度 (5) 令和3年度		
事業費	予算現額		決算額	執行率
	(1) 感染症健康診断	26,940,000円	15,375,187円	57.1%
	(2) 感染症公費負担	178,802,000円	134,949,184円	75.5%
	(3) 自宅療養者等への支援	300,396,000円	129,029,590円	43.0%
	(4) 健康危機管理対策	494,442,000円	415,575,153円	84.0%
	(5) 新型コロナウイルスPCR検査	28,530,000円	9,752,380円	34.2%
事業実績	<p>○令和3年度実績</p> <p>(1) 感染症健康診断 ①新型コロナウイルス感染症に関するコールセンターを設置 ②自宅療養患者への貸し出し用に、パルスオキシメーター及び酸素濃縮器を確保</p> <p>(2) 感染症公費負担(新型コロナウイルス感染症分) 入院医療費公費負担 684件 468人、患者移送 434件</p> <p>(3) 自宅療養者等への支援 ①訪問看護ステーションによる健康観察 架電 1,377件、訪問 7件 ②診療体制の確保への協力金として、区内2病院に支援金を交付</p> <p>(4) 健康危機管理対策 災害拠点病院等及び医師会に対し、安定的な診療体制確保のための助成金を交付</p> <p>(5) 新型コロナウイルスPCR検査 検査件数 1,040件(うち、陽性77件)</p> <p>※各事業とも感染状況に応じて事業を実施したことにより、執行率が低くなりました。</p>			
	令和5年度予算への対応	<p>実績を踏まえた評価・課題 令和4年度は、診察を行う際に使用する陰圧式エアートント等を購入し、新型コロナウイルス感染症の新たな流行や新型コロナウイルス感染症以外の新興感染症の発生に備えます。また、感染拡大時の保健所の応援体制を構築するとともに、厚生労働省の方針や各患者の状態に合わせ、適切に対応していきます。 令和5年度は、感染状況等を注視しながら、引き続き適切な対策を講じます。</p>		
所管課	保健福祉部 地域保健課、生活衛生課 健康推進課	決算参考書 194、196頁	R3予算の概要	79頁

41 休日応急診療

ちよだみらいプロジェクトの 施策の目標	安心して医療が受けられるしくみづくりと、医療と介護の連携の推進に努めます
------------------------	--------------------------------------

事業概要	内容	<p>医療機関休診日にあたる日曜・祝日・年末年始等の休日における医療を確保するため、医師会・歯科医師会・薬剤師会と連携して保健所内で休日応急診療所及び休日調剤薬局を実施することにより、医療と調剤の整備を図るとともに区民の健康維持に寄与しています。</p> <p>令和3年度は、東京2020大会期間中の平日・土曜の夜間において、休日応急診療所及び休日調剤薬局を開設し、医療体制の充実を図り、区民の安全・安心を確保します。</p>		
	事業開始年度	昭和48年度		

事業費	予算現額	決算額	執行率
	60,345,000円	49,399,987円	81.9%

事業実績	○令和3年度実績								
	科目	受診者数						診療時間	開設日数
		大人		子ども		合計			
		昼間	準夜	昼間	準夜	昼間	準夜		
	医科	386人	29人	259人	48人	645人	77人	昼間：9時～17時 準夜：17時～22時	72日
歯科	72人	-	19人	-	91人	-	9時～17時		
調剤	123人	46人	157人	48人	280人	94人	昼間：9時～17時 準夜：17時～22時		
<p>※東京2020大会期間中の平日・土曜の夜間において、休日応急診療所及び調剤薬局を開設する予定でしたが、無観客での開催等により、来街者の大幅な増加が見込めないことから、例年どおり休日のみ開設することとしました。</p>									

実績を踏まえた令和5年度予算への対応	令和4年度の取組状況・課題	区民の安全・安心を確保するため、医療機関が休診となる日曜・祝日・年末年始等の休日にも対応可能な休日応急診療の体制を維持していく必要があります。
	令和5年度は、令和4年度に引き続き、医師会・歯科医師会・薬剤師会と連携して休日応急診療所及び休日調剤薬局を運営していきます。	

所管課 保健福祉部 地域保健課	決算参考書	194頁	R3予算の概要	89頁
-----------------	-------	------	---------	-----

42 歯科口腔保健の推進

ちよだみらいプロジェクトの 施策の目標		一人ひとりの健康づくりを支援します											
事業概要	内容	区では、平成24年度に「千代田区歯と口腔の健康づくり推進条例」を制定して、「歯と口腔の健康づくり」の普及啓発活動を行っています。 (1) 歯科口腔保健の推進 普及・啓発のための講演会、啓発イベント、8020・9020表彰事業等を実施します。 (2) 歯科保健の推進 主に妊産婦・乳幼児を対象に、ライフステージに応じた歯科健診、保健指導及び健康教育を実施します。 (3) 区民歯科健診 19歳以上の区民を対象に指定歯科医療機関において歯科健診を実施しています。歩行困難等により歯科医療機関での受診が困難な方には、歯科医師による訪問歯科健診を実施します。											
	事業開始年度	(1) 昭和56年度 (2) 昭和50年度 (3) 平成5年度											
事業費	予算現額		決算額	執行率									
	(1) 歯科口腔保健の推進	1,427,000円	1,257,745円	88.1%									
	(2) 歯科保健の推進	8,934,000円	8,837,912円	98.9%									
	(3) 区民歯科健診	44,980,000円	44,978,780円	100.0%									
事業実績	○令和3年度実績												
	(1) 歯科口腔保健の推進 ①講演会、成人の日のつどい歯科啓発事業 各1回 ②歯と口の健康習慣事業 「パネル展示」6月1日～6月11日実施 「歯科健診・相談」8月30日実施 「アキバキャンペーン(啓発イベント)」11月6日実施 ③歯科保健推進委員会 開催回数 1回 ④8020・9020表彰事業による被表彰者 30名(うち9020特別表彰被表彰者2名)												
	(2) 歯科保健の推進 <table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <td>歯科健診</td> <td>予防処置</td> <td>保健指導</td> <td>健康教育</td> <td>相談</td> </tr> <tr> <td>2,652人</td> <td>2,272人</td> <td>2,653人</td> <td>1,018人</td> <td>98人</td> </tr> </table>				歯科健診	予防処置	保健指導	健康教育	相談	2,652人	2,272人	2,653人	1,018人
歯科健診	予防処置	保健指導	健康教育	相談									
2,652人	2,272人	2,653人	1,018人	98人									
(3) 区民歯科健診 (受診期間 令和3年6月1日～令和4年2月28日) <table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <td>対象者数</td> <td>受診者数</td> <td>受診率</td> </tr> <tr> <td>56,222人</td> <td>5,845人</td> <td>10.4%</td> </tr> </table>				対象者数	受診者数	受診率	56,222人	5,845人	10.4%				
対象者数	受診者数	受診率											
56,222人	5,845人	10.4%											
実績を踏まえた評価・課題 令和4年度取組状況 令和5年度予算への対応	歯科口腔保健の推進は、歯と口の健康を通じた健康寿命の延伸が課題です。令和5年度も令和4年度に引き続き、区内歯科医師会等と連携して区民の歯と口腔の健康づくりに取り組みます。												
	歯科保健の推進は、新型コロナウイルス感染症をはじめとする感染拡大防止のため、安全で参加しやすい体制づくりを検討します。令和4年度は、従来の事業に加え、講演会をオンラインで実施します。令和5年度は、利用者の利便性を図るため、予約申込みのオンライン化をめざします。 区民歯科健診は、受診率が微増に留まっている点が課題です。令和4年度は、新たに動画による受診勧奨の手法を取り入れるなど、歯科健診に対してより関心を持ちやすい環境を整備します。令和5年度も引き続き、さらなる受診率向上をめざし、多様な媒体・手法によって勧奨を行うほか、高齢者向け歯科健診の導入をめざします。												
所管課 保健福祉部 地域保健課、健康推進課		決算参考書	194頁	R3予算の概要 85頁									

43 新型コロナウイルスワクチン接種対策【補正予算】

ちよだみらいプロジェクトの 施策の目標	感染症や食中毒等を予防し、発生時には迅速な対応をする体制を整備します
------------------------	------------------------------------

事業概要	内容	<p>予防接種法に基づく「臨時接種」として、新型コロナウイルス感染症のまん延予防のためのワクチン接種を実施します。</p> <p>区では、国から示される接種順位に基づき、ワクチン接種を希望する区民の方が円滑に接種を受けられるよう集団接種や巡回接種等の体制を構築します。</p> <p>また、区ではワクチン接種に関する相談や事前予約などのためのコールセンターや窓口を設置するとともに、チャットボット等の新たなツールも活用しながら、区民の方からの様々な問い合わせに対応していきます。</p>
	事業開始年度	令和2年度

事業費	予算現額	決算額	執行率
	1,367,864,000円	1,041,834,273円	76.2%

事業実績	○令和3年度実績										
	(1) 接種場所										
	①個別接種：協力医療機関数 延べ85施設 ②集団接種：区施設等 5会場（1～2回目接種） 区内病院等 4会場（1～2回目接種、3回目接種、小児接種） 臨時会場 1会場（1～2回目接種）										
	(2) 接種実績（令和4年4月1日現在）										
	①初回接種（1～2回目）										
	<table border="1"> <tr> <td style="width: 15%;"></td> <td style="width: 25%;">対象者</td> <td style="width: 25%;">2回目接種人数</td> <td style="width: 35%;">接種割合</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">5歳以上</td> <td style="text-align: center;">60,390人</td> <td style="text-align: center;">49,227人</td> <td style="text-align: center;">81.5%</td> </tr> </table>		対象者	2回目接種人数	接種割合	5歳以上	60,390人	49,227人	81.5%		
	対象者	2回目接種人数	接種割合								
5歳以上	60,390人	49,227人	81.5%								
	②追加接種（3回目）										
	<table border="1"> <tr> <td style="width: 15%;"></td> <td style="width: 25%;">対象者</td> <td style="width: 25%;">3回目接種人数</td> <td style="width: 35%;">接種割合</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">18歳以上</td> <td style="text-align: center;">56,967人</td> <td style="text-align: center;">31,114人</td> <td style="text-align: center;">54.6%</td> </tr> </table>		対象者	3回目接種人数	接種割合	18歳以上	56,967人	31,114人	54.6%		
	対象者	3回目接種人数	接種割合								
18歳以上	56,967人	31,114人	54.6%								

実績を踏まえた評価・課題 令和4年度予算への対応	<p>本事業は予防接種法に基づき、国がまん延予防上緊急の必要があるときに接種対象者・期間を指定して実施する臨時予防接種で、新型コロナウイルス感染症に対するワクチン接種に関する事業です。ワクチン供給量の見通しが立てづらいなどの課題を抱える中、安全・安心なワクチン接種の体制を整え、様々な媒体による広報活動を行いながら接種促進に取り組んだ結果、当初目標とした初回接種の接種率80%を達成しました。</p> <p>ワクチン接種事業はそのときどきの感染状況等に大きく左右されるため、柔軟かつ機動的な対応が求められます。</p> <p>令和4年度は、これまで培ってきたノウハウを活かしながら追加接種（3回目・4回目）や小児接種に取り組んでいきます。</p> <p>令和5年度も引き続き柔軟な対応が可能となる体制を維持し、必要なときに区民の方々へ安全・安心な接種が迅速に提供できるよう努めます。</p>
-----------------------------	---


所管課	保健福祉部 健康推進課 (新型コロナウイルス予防接種担当課長)	決算参考書	194頁	R3予算の概要	82頁
-----	------------------------------------	-------	------	---------	-----

44 食品衛生（許可及び監視）【拡充】

ちよだみらいプロジェクトの 施策の目標	感染症や食中毒等を予防し、発生時には迅速な対応をする体制を整備します
------------------------	------------------------------------

事業概要	内容	<p>食品衛生法の改正により、東京都食品製造業等取締条例が令和3年5月末で廃止され、弁当類の販売は、許可制から届出制に変わります。同時に販売の規制が緩和されるため、路上等の屋外における弁当類の販売増加が予想されます。</p> <p>過去の調査において、屋外で販売されていた弁当類は、食品の衛生的な取扱いに問題があるものや、無許可販売の食品事業者が多く確認されていました。区ではこれら業態の食品事業者に対する取締まりを強化してきました。</p> <p>弁当類の販売が許可制から届出制になった後も、路上等で販売されている食品による食中毒の未然防止と、適正表示された食品販売の徹底を図るため、路上弁当監視員を配置し、路上販売者の現状把握と、苦情が寄せられた際の迅速な対応を行います。</p>
	事業開始年度	昭和50年度

事業費	予算現額	決算額	執行率
	21,288,000円	18,715,149円	87.9%

事業実績	<p>○令和3年度実績</p> <p>(1) 監視件数実績</p> <p>令和3年6月から令和4年3月までに、区内の路上で弁当を販売していた事業者に対し、合計で2,288件の監視を実施しました。</p> <p>■地域・販売手法別監視件数実績</p> <p style="text-align: right;">(単位：件)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th></th> <th>路上販売</th> <th>店頭販売</th> <th>自動車販売</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>丸の内・霞が関</td> <td>17</td> <td>4</td> <td>432</td> </tr> <tr> <td>麴町</td> <td>39</td> <td>414</td> <td>522</td> </tr> <tr> <td>神田</td> <td>26</td> <td>393</td> <td>441</td> </tr> </tbody> </table>		路上販売	店頭販売	自動車販売	丸の内・霞が関	17	4	432	麴町	39	414	522	神田	26	393	441	 <p>▲弁当類の路上販売監視現場</p>
		路上販売	店頭販売	自動車販売														
丸の内・霞が関	17	4	432															
麴町	39	414	522															
神田	26	393	441															
	<p>(2) 苦情発生実績</p> <p>令和元年度の25件、令和2年度の16件から、令和3年度は5件と大きく減少しました。</p> <p>苦情内容は5件とも、店舗前の路上での弁当販売についてのもので、不衛生な販売方法を行っていた事業者に対し、販売方法の改善を指導しました。</p>																	

実績を踏まえた評価・課題 令和5年度予算への対応	<p>監視実績及び苦情実績ともに、新型コロナウイルス感染拡大の影響により事業を休止していた飲食関係施設が多かったことから、想定した件数より少なくなりました。しかし、今後経済活動再開に伴い、監視対象及び苦情件数ともに増加が見込まれます。</p> <p>令和5年度は、令和4年度に引き続き、路上販売者に対して、路上弁当監視員による正確な実態把握を進め、食品衛生法に基づく許可・届出の確認と、販売時における衛生的な食品の取扱いを指導していきます。</p>
-----------------------------	--

所管課 保健福祉部 生活衛生課	決算参考書	196頁	R3予算の概要	83頁
-----------------	-------	------	---------	-----